

なかやまタイムス

中山地区公民館
 伊予市中山町出瀬 2-138-1
 TEL 967-1111
 FAX 967-1101
 中山町(4月末現在)
 人口 3,036人(-5)
 男性 1,437人(-4)
 女性 1,599人(-1)
 世帯数 1,355戸(-2)



「さつき展」に備え自慢のさつきの手入れを行う会員



剪定等手入れ方法の講習会が開かれました。



出品された鉢の話に花が咲いていました。

「第33回中山さつき展」が5月22日から24日まで中山地域事務所において開催され、「中山さつき愛好会」の会員の皆さんが丹精込めて育てた作品約50鉢が展示され来庁者の皆さんが観賞されていました。

愛好者が丹精込めた力作を展示



地域事務所ロビーで開催された「第33回中山さつき展」

岡田 章さんの作品



宮崎 廣實さんの作品



「伊予市長賞」受賞の二人

写真左=「さくら」の部 岡田 章さん(日南登)・写真右=「花舞妓」の部 宮崎 廣實さん(泉町一丁目)

「第33回中山さつき展競技花品評会」入賞者 (敬称略)

「さくら」の部

- ・伊予市長賞 岡田 章
- ・伊予市教育長賞 長田 直一
- ・中山地区公民館長賞 宮崎 廣實
- ・中山町文化協会長賞 松本 正光
- ・中山支館長賞 門田 重明
- ・中山町さつき愛好会長賞 西山 一幸

「花舞妓」の部

- ・伊予市長賞 宮崎 廣實
- ・伊予市教育長賞 松本 正光
- ・中山地区公民館長賞 岡田 章
- ・中山町文化協会長賞 上岡 貞義
- ・中山支館長賞 長田 直一
- ・中山町さつき愛好会長賞 門田 重明

~中山町文化財紹介~

(第18回 ナギ)



中山町泉町 菅原天満宮(伊予市指定天然記念物)

マキ科。幹回りは胸高135cm、樹高20m、推定樹齢150年。「ナギ」は西日本の暖地に生ずる常緑高木で、雌雄異株。古代から社寺や庭に植えられ、春開花し、雌株では秋に球形の実を付ける。葉には平行に20~30本の葉脈があって、縦に引っ張ると切れにくく、チカラシバの別名がある。このことから夫婦円満の縁起の良い木とされる。また、「ナギ」は「凧」、平穏に通じるともいわれている。(中山史談会)

6月の行事予定

1	金	
2	土	第30回伊予中山ホテルまつり
3	日	中山支館一斉清掃&防災対策
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	中山・佐礼谷わんぱく塾開塾式
14	木	佐礼谷老人クラブ視察研修
15	金	
16	土	
17	日	第21回野中支館球技大会
18	月	
19	火	
20	水	中山・佐礼谷わんぱく塾
21	木	
22	金	
23	土	佐礼谷老人クラブ奉仕作業
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	中山・佐礼谷わんぱく塾
28	木	
29	金	
30	土	

「中山わんぱく塾」塾生随時募集しています

~みんなと一緒に楽しい放課後を過ごしませんか!~

本年も地域の方々のご協力のもと、子どもたちが放課後、安心して楽しい時間を過ごせる場所づくりとして、中山町子ども教室「わんぱく塾」が6月13日(水)から始まります。

「中山わんぱく塾」では塾生を随時募集します。

【開塾日】毎週水曜日午後4時から(夏休み中は午前中)

【募集対象】中山小学校児童

【お問い合わせ】教育委員会中山事務所まで(☎967-1111)



秦皇山俳句会作品集

代表 西尾 芳子

母の日や	新茶汲む	堀りたての	新緑の	満開の	今年竹	牡丹の	薫風や	風薫る
亡母を	羊羹厚く	筍届く	川を下りぬ	皐月に心	競ひ合ふかに	くづるる時も	テニスコートに	面差し優し
語りぬ	切つてをり	留守の家	屋形船	なごみ合ふ	伸びてをり	華やかに	笑い声	大師像
三姉妹								
芳子	かつこ	はるこ	あきこ	ひでこ	やすこ	のぶこ	いてん	巖

夜間、「会議室・体育施設」使用について

今年度から中山地域事務所は、22時~翌8時30分の間、職員が不在です。

会議室・体育施設等を利用する方は、必ず22時までに、鍵・日誌の返却を済ませて下さい。

...館長のひとりごと... NO. 24

今年も梅雨入りの季節がやってきた。急に蒸し暑くなり身体がなかなか季節についていけません。ところで5月の連休期間中、皆さんはいかが過ごされましたか?私はその一日、町内で行われた「れんげ祭り」を訪ねました。今年はレンゲの花が咲いてなく少し残念でしたが、祭りでは地区の皆さんがステージ上で行われる演芸を楽しみ、自らも楽しく踊りを披露する。スタッフは「祭りの目的はみんなが集まり、楽しい一時を過ごすこと」と話す。多くの老若男女が集まり皆さん笑顔があふれていた。確かに、レンゲが咲かなかつたのは残念だったけれど、お祭りを通じて種まきは十分でき、今年も「つながり」という沢山の美しい花が咲いたことと思います。

れんげ祭りの舞台裏

～スタッフみんなで力を合わせて～

準備もワイワイガヤガヤと楽しく！



「れんげ祭り実行委員会」の皆さん



皆さん笑顔笑顔の楽しい一日でした！

4月29日、田植え前の田んぼにテントが並びステージができる。そして青空の下、地域のみなさんがたくさん集まってきました。泉町一丁目実行委員会による「一大イベント」「れんげ祭りだよ！一丁目」。平成9年から始まり、今回で10回目。始めたきっかけを、先輩との会話の中で「花見でもしてみんなが集まったらええなあ・・・」の一言が始まり。このことをみんなに話すと「面白い。どうせやるなら田んぼの中でやるとは・・・」とみんなが賛成。しかし、いざ開催するとなると、何をどうすればいいのか全く分からず、第一回目は手探り状態のまま何とか開催することができた」と当時を懐かしむ。

「みんなが集まり」「ふれあいの場」となれば」



「れんげ祭り」実行委員長

平磯 章 さん



泉町一丁目れんげ祭り実行委員会

「目的は地域の輪をつくること」

「れんげ祭りだよ！一丁目」

4月29日、泉町一丁目「れんげ祭りだよ！一丁目」が開催されました。

当日は、「おとこつと一座」、「峠のOBAJUN太鼓」の皆さんの演技や演奏の他、餅まき等が行われ、地域の皆さんが手づくりの祭りを楽しめました。

今年で10年目を迎えた「れんげ祭り」への思いを平磯 章 実行委員長にお聞きました。

「みんなの協力があるから」

れんげ祭りの素晴らしさは楽しい内容だけでなく、当日の運営に地区の殆どの人が関わっていること。そのスタッフの数は約40人。「ひまわりの会」の女性グループ有志が料理を作り。「ふれあいの会」のグループは出し物の練習を行う。10年も続けられている理由について、「みんなの協力があるから。みんながワイワイと楽しくやる。それが一番」とうなずかれた。そして、「地元を離れた方々が祭りに戻ってくれる。この方々との交流も楽しみのひとつ。いつまでも地元を大切に思ってもらいたい」と話された。

今後について、「もう少し大々的な祭りにはしたい気持ちもあるが、それには若い方にリーダー的役割を担って頂き、過疎化が進む地区を大いに盛り上げてほしい」と思いを語られる。地域の人との交流を目的に手探り状態で始められた「れんげ祭り」だが、今では地域住民の結束を強める役割も担っている。みんなで考え工夫を凝らして祭りを行うことは泉町一丁目の全ての地域活動につながっていくと思います。

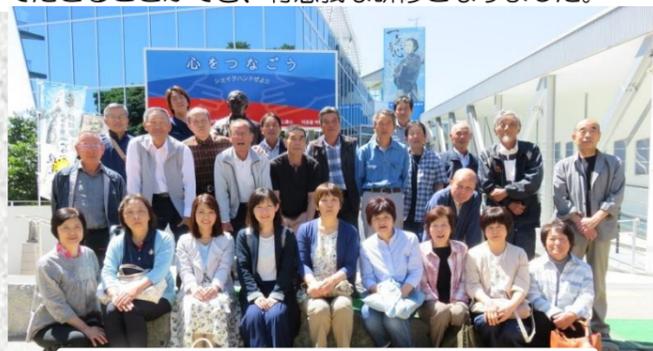


地区の皆さん総出演で盛り上がりました

永木支館 地域研修で高知方面へ

5月20日、地域の皆さん25人が参加し永木支館地域研修が行われ、高知県の「坂本龍馬記念館」「道の駅 南国風良里」などを訪れました。

4月にリニューアルオープンし、「龍馬の殿堂」と称した「坂本龍馬記念館」では龍馬の生涯を実物の資料等でたどることができ、有意義な研修となりました。



地域研修で高知県方面を訪れた永木支館の皆さん

中山史談会・ボランティアガイド会員清掃活動

5月18日、「中山史談会」、「ボランティアガイド」の皆さんが旧脇本陣玉井家の清掃作業を行いました。

見学に訪れた皆さんを気持ちよくお迎えをしようと年間3回行っている作業。当日は、会員6人が持参した作業道具を手に庭木の剪定や雑草の草引き等に汗を流しました。



清掃活動に汗を流される会員の皆さん

永木 藤の郷川で 魚釣り・川遊び会

5月3日、永木地区のボランティアグループ「清流 藤の郷会」のメンバーによる「魚釣り・遊び会」が行われました。

当日は、会員が藤の郷川に約200匹のニジマスを放流。連休で帰省した家族連れなど約60人が思い思いに釣りや魚つかみを楽しみました。



魚釣りを楽しむ参加者の皆さん

中山地区公民館運営委員会 開催

5月17日、中山地区公民館において「第1回中山地区公民館運営委員会」が開催され、今年度の運営方針、事業計画等について協議が行われました。

また、人口減少がますます進む中山地区において、公民館活動が地域のつながり、人とのつながりを深め合う大切な役割を担っていることを再確認しました。



今年度の活動方針などについて協議が行われた運営委員会